

## 北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第34回本部会議 記録

日 時／令和3年1月28日（木）

16：30～17：00

場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

### 【副本部長（中野副知事）】

それでは、ただいまから、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部第34回本部会議を開催いたします。先週もご説明しましたとおり、この会議でございますけれども、全国の一部地域におきまして緊急事態宣言が発出されている間は、本道におきましても感染状況等を定期的にモニタリングいたしまして、状況を踏まえて機動的に対応するという観点から開催するものでありまして、先月に引き続いての開催となります。それでは議事に入ります。まず、「道内の感染状況」について、保健福祉部長から説明をお願いいたします。

### 【三瓶保健福祉部長】

道内の感染状況などについてご報告いたします。まず資料1をご覧くださいと思います。まずスライド1ですが、道内の感染状況であります。新規感染者の状況といたしまして、昨日時点の直近1週間で814名となっておりまして、人口10万人当たり15.3人/週と先週よりも低下しているものの、引き続き、高い状況が続いております。また、感染拡大の兆候を示すリンクなしの感染者数割合は、昨日時点で27.0%となっております。なお、資料にはございませんが、本日の新規感染者数は115人でありまして、直近1週間で799人、人口10万人当たりで15.1人/週となる見込みです。スライド2ですが、人口10万人当たりの新規感染者数につきましては、全国で比較すると、1月26日のデータであります。全国で15番目となっております。スライド3でございますが、検査数については、直近1週間では19,772件となっており、陽性率も4.1%と先週に比べ減少している状況にあります。スライド4をお願いいたします。年代別割合につきましては、30歳代以下の割合が4割を占めるなど、比較的行動が活発な若い世代の感染が徐々に多くなっている状況にあります。スライド5をお願いいたします。医療提供体制については、昨日時点で、療養者数も1,373名ですが、入院患者数は697名と先週に比べ減少しておりますが、重症者は17名となり増加している状況にあります。スライド6ですが、22時時点の人出の状況について、昨年10月28日、道が警戒ステージを2に引き上げた時と比べますと、すすきの駅では、40.0%の減となっております。スライド7をお願いいたします。地域別の感染状況については、依然として、札幌市を含む石狩管内が全道の半数以上を占めているものの、集団感染の発生などにより、後志、胆振、渡島、上川、釧路など、感染が全道に広がっている状況にあります。スライド8をお願いいたします。集団感染の発生状況につきましては、発生件数は減少しているものの、特に直近1週間では、飲食店や会合など飲食を伴う場

面や大学、高校など学校での集団感染の発生が多くみられます。スライド9をお願いします。小樽市の感染状況は、1月中旬から減少傾向にあったものの、直近1週間で5件の集団感染が集中的に発生し、新規感染者が大きく増加している状況にあるなど、人口当たりの感染者数が極めて高い水準にあります。なお、資料にはありませんが、本日の小樽市の新規感染者数は33人であり、直近1週間で114人と更に増加している状況にあります。

スライド10をお願いします。総評ですが、この内容につきましては、あらかじめ専門家等の皆様にもご確認をいただいております。まず、「感染状況」については、新規感染者数は先週に比べ減少しているものの、引き続き100名を超える日が続いております。また、医療施設・福祉施設に加えまして、飲食店等及び学校において、集団感染が多く発生しており、特に、小樽市においては、集団感染が多発し、人口当たりの感染者数は、極めて高い水準であります。また、すすきの地区の人流は先週に比べ微増状況にあります。

次に「医療提供体制」につきましては、入院患者数及び療養者数は先週に比べ減少しましたが、入院患者数は、引き続き700名程度で推移し、依然として厳しい状況が続いており、また、重症者数も増加している状況にあります。特に、小樽市では、入院患者数及び療養者数の増加により、市内医療機関への負荷も高まっていることから、後志圏と札幌圏での入院調整を実施するなど、厳しい状況です。スライド11をお願いします。最後に「今後の対応」についてでございますが、小樽市においては、幅広い業種にわたる集団感染の発生により感染拡大が続いており、今後は市中における感染がさらに広がる可能性もあることから、札幌市と隣接し、後志管内の中核都市という特殊性を踏まえ、これ以上の市内の感染拡大を防止するため、行動変容のさらなる徹底と、集団感染へのより迅速な対応が重要となっております。このほか、全道各地で集団感染が続いており、引き続き、この集団感染への迅速な対応に取り組んでいくとともに、飲食の場面における感染リスクの回避など、感染拡大防止の徹底に取り組む必要があると考えております。私からの説明は以上でございます。

#### **【副本部長（中野副知事）】**

続いて、「札幌市の感染状況」につきまして、本日、オブザーバー出席いただいております、札幌市の山口感染症担当部長から説明をお願いいたします。

#### **【山口札幌市感染症担当部長】**

札幌市の感染状況についてご説明をいたします。まず1枚目の資料の札幌市内の新規感染者数についてですが、日ごとの週の集計の推移では、12月中旬から下げ止まりまして1月に入り一旦増加傾向に転じておりましたが、1月の中旬以降、再び減少傾向に入っております。またリンクなしの割合ですが、3割程度で推移をしております。重症患者数でございますが、一桁台で推移しておりますけれども、医療提供体制のひっ迫を防ぐためにも、増加に転じることを防がなければならないところでございます。

では次のスライドをご覧ください。すすきの地区の夜の人の動きでございます。年が明

けてから、やや増加傾向が見みられたものの、その後は若干の動きがありますけれども、減少基調にあるようなところでございます。しかしながら、接待を伴う飲食店や酒類提供店舗での集団感染につきましては、直近1週間において、すすきの地区では1件発生しているほか、すすきの地区以外でも2件が発生しているところでございます。接待や飲食を伴う場面は感染リスクが高く、その後の市中への感染拡大に繋がる恐れがあることから、引き続き警戒する必要があると考えております。

また昨日でございますけれども、札幌市では、すすきの地区の事業者との意見交換会及び研修会を開催いたしまして、研修会には177人の方にご参加をいただきました。研修会では、正しい知識の共有、予防的な対応、安心回復の支援、接待を伴う飲食店への支援の4つを柱といたします、すすきの地区新型コロナ対策プロジェクトを立ち上げることとし、今後は手引書の作成や、これを遵守した店舗のホームページでの公表、店舗単位での定期的なPCR検査の促進、消毒費用の支援等を進めていくこととしております。以上でございます。

#### **【副本部長（中野副知事）】**

続きまして、ただ今説明のありました感染状況を踏まえまして、「感染拡大防止に向けた施策」について、総合政策部長から説明をお願いします。

#### **【倉本総合政策部長】**

資料3でございますが、「感染拡大防止に向けた施策について」でございます。先ほど、保健福祉部長から説明がありましたとおり、最近の小樽市の感染状況を踏まえまして、本日28日から2月15日までの間、感染リスクが回避できない場合、小樽市内における不要不急の外出自粛及び同市との不要不急の往来自粛を追加することとしたいと思っております。なお、改訂後の「感染拡大防止に向けた施策」の全体資料につきましては、お手元に別途配付させていただいておりますので、後ほどご覧いただきたいと思います。

このことにつきましては、予め専門家及び有識者の皆様にご意見を伺うとともに、市町村や関係団体の皆様にも事前にお知らせをしております。専門家及び有識者の皆様からは、概ね「妥当」とご回答をいただいたところであります。また、関係団体から、今回の措置は「妥当」とした上で、小樽市内の企業の事業継続や雇用維持に係る対策を、引き続き講じることが必要といった意見も寄せられたところでございます。私からの説明は以上になります。

#### **【副本部長（中野副知事）】**

それでは、ただいまの説明のありました「感染拡大防止に向けた施策等」についてですけれども、直近の感染状況を踏まえまして、ただいまの説明のありました内容のとおり、当本部として決定することとしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。それでは、そのように決定をさせていただきます。

続きまして、今回、管内の小樽市に新たな措置を講ずることとなりました後志総合振興局の局長から状況等について報告をお願いいたします。

### 【北谷後志総合振興局長】

後志総合振興局です。後志管内では、倶知安町の飲食店での集団感染は、落ち着いている状況ですけれども、昨年末から小樽市での感染が相次いでおりまして、昨日27日には35名、先ほどもご説明がありましたけれども、本日も新たに33名が発生するなど、人口あたりの感染者数が極めて高い水準になっているところがございます。先週、ご報告申し上げた以降も新たに複数の集団感染が発生しておりまして、特に高校で大きな感染が発生するなど注意が必要な状況となっております。また、小樽市内での感染は、集団感染によるものが大部分でありますことから、現在、本庁および振興局から広域支援チームを小樽市保健所に派遣しますとともに、集団感染が発生しました介護事業所内に現地対策本部を設置するなど、集団感染の早期抑え込みに鋭意対応しているところがございます。今回の小樽市を対象といたしました、感染リスクを回避できない場合の外出自粛や往来自粛要請の措置を受けまして、振興局といたしましては、小樽市、そして小樽市保健所との連携を強化し、さらに、感染防止に向けて周知徹底に取り組んでいくこととしており、具体的に申し上げますと、小樽市長との共同での緊急メッセージの発出や動画による呼びかけ、感染防止対策の新聞広告の掲載などの取り組みを進めてまいり考えております。いずれにいたしましても、関係機関の連携を一層強化いたしまして、一刻も早い収束に向けて全力で取り組んでまいり所存でございます。以上です。

### 【副本部長（中野副知事）】

それでは、その他の振興局の取組などについて、順次説明、ご報告をお願いしたいと思います。まず、渡島総合振興局長からお願いいたします。

### 【鳴海渡島総合振興局長】

資料4に基づきまして、渡島管内の取組についてご説明したいというふうに思います。まず、渡島管内の最近の感染状況ですが、1月以降発生した複数の社会福祉施設での集団感染に、陽性者が追加確認されていますほか、新たに大学や自衛隊などにおいても集団感染が発生しており、依然として医療のひっ迫が懸念される状況にあります。振興局といたしましては、引き続き函館市をはじめとする関係機関と連携しながら、医療提供体制の充実に努めるとともに、新北海道スタイルの徹底など、感染拡大防止に向けた取組を推進していく考えでございます。

次に、先週の本部員会議でご説明いたしました、函館市繁華街における感染拡大防止対策の徹底に係る要請の結果についてご報告いたします。先週1月22日（金）に、市役所から48名、振興局から24名、計72名の体制で、大門地区、五稜郭地区、美原地区の3つのエリアの飲食店625店舗に対して、感染拡大防止対策の徹底を要請したところです。この625店舗の中には、休業中などで営業をしていない店舗も多数確認されたところです。その他、1月25日に、管内市町と商工会・商工会議所に対しまして、飲食店における感染拡大防止対策を徹底するよう、文書により依頼しましたほか、北斗市、七飯町の2市町と商工会に加えて函館商工会議所を訪問して、意見交換を行っ

ております。訪問にあたりましては、感染状況を踏まえまして、最低限の人数で対応したところでは、市町からは、飲食店の客足が明らかに減少しており、休業している飲食店が多いといった現状をお聞きしましたほか、商工会、商工会議所からは、国や道の支援金の申請サポートなどを行っておりますことから、これまで以上に、地域企業に対して、丁寧な支援ができているといった声があったところでございます。我々からは、1月に札幌で行われた飲食店向け勉強会の資料を、地域の企業に周知して活用していただくなど、改めての感染防止対策の協力を要請して、ご理解をいただいたところです。管内では、休業している飲食店が多いといったお話がありましたが、函館市内でも、観光関連の飲食店や土産物店、宿泊施設などでも臨時休業とする動きが見受けられますことから、振興局といたしましては、関係機関と連携し、事業者に対する支援策の周知を一層進め、感染拡大防止の啓発資料を活用しながら、事業者への支援をしっかりと丁寧に行っていく考えでございます。渡島からは以上です。

#### 【副本部長（中野副知事）】

続きまして、留萌振興局長、お願いします。

#### 【宇野留萌総合振興局長】

資料5をご覧ください。留萌管内における感染拡大防止対策の取組について説明いたします。管内では、1月以降、新規感染者が急増しまして、1月の感染者のほとんどが、介護サービス事業所における集団感染に関連するものでありまして、他の医療機関、施設の職員や利用者に感染が拡大したものでございます。施設利用者の中には、複数の施設に通っている方が多く、連鎖的に感染が広がっている状況にあります。このような状況を踏まえ、振興局といたしましては、特に社会福祉施設を中心とした感染拡大防止対策の徹底を図ってまいりたいと考えておりまして、具体的には、社会福祉施設の管理者や市町村を対象とした研修会を、2月中旬までには開催することで準備を進めております。この研修会では、北海道感染症危機管理対策協議会委員であります札幌医科大学の高橋教授をお招きいたしまして、社会福祉施設における感染管理やクラスター対策の最新の情報についてお話しいただくことを検討しております。また、研修会に合わせて社会福祉施設管理者同士のネットワーク化も検討しており、今後予定されておりますワクチン接種時においてもスムーズに連携が図られるよう努めてまいりたいと考えております。続いて商工事業者を対象といたしました感染防止対策の徹底についてでございますが、当管内におきましては、新型コロナにより疲弊する商工事業者の現状把握や国等の支援策の周知を目的に、定期的に管内商工事業者を訪問しヒアリングを実施しております。感染防止対策を呼びかけます独自のチラシなどを作成し、この訪問にあわせてまして周知徹底を行いたいと考えております。

次にスライド2をご覧ください。これまでの振興局における主な取組としてまとめたものでございますが、特徴的な取組として離島での取組をご紹介します。留萌管内では、天売島、焼尻島の2つの小さな離島を抱えております。医療体制が脆弱な離島においては、新型コロナ感染者が発生した場合に備え、羽幌町、警察、消防など

の関係機関の協力のもと、迅速な搬送体制等を確認するため、島内で演習などを実施しているところでございます。具体的には、防護服の着脱訓練や、搬送の際の資機材や消毒方法の確認、搬送車の養生方法の実習など、患者が発生した場合に速やかに対応できる体制を整備しているところでございます。振興局といたしましては、引き続き管内市町村や医療関係者、事業者の皆様と連携しながら感染防止対策に取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。

**【副本部長（中野副知事）】**

続きまして、釧路総合振興局長、お願いします。

**【山口釧路総合振興局長】**

資料6をご覧ください。まず管内の集団感染事例ですが、昨年釧路市内の歓楽街にありまます飲食店などで8件の事例が発生しました。また、今年に入りまして、先週末から、カラオケなどの飲食店などで3件の事例が相次いでおりまして、現在、ホテルの宿泊療養の受入れも開始したところでございます。これまでの取り組みですが、一番下の③の歓楽街対策をご覧ください。釧路市とも連携をいたしまして、各店舗を戸別訪問するなど、北海道スタイルの実践を要請しております。また●の3つ目にありますが、歓楽街コロナ対策連絡協議会、これは市内の24店の飲食店に入るビルを所有します18人のビルオーナーの方が形成した団体でありまして、約350店舗のテナントも入っているということでございます。昨年は釧路保健所の所長が講師役になりまして、最初にもありますが、ガイドラインなどの勉強会を開催しました。また今年に入りまして、お店で陽性が確認された場合、その店舗名、施設の消毒状況、そして収束後の営業再開などといった情報をSNSで発信し、安心して歓楽街を利用できる環境づくりとあわせまして、感染があったお店の経営者が孤立することのないよう、全体でサポートしていきたいということでございます。

最後になりますが、右側に今回の集団感染の取り組みを整理しております。今回共通するのは、スナック等において多人数で行われていました飲食を伴うカラオケであります。現在お願いしております、できる限り同居してない方との飲食を控えていただくなどといった取り組みが確実に実践されていれば、ここまで感染が大きく広がらなかったと考えておりまして、我々振興局におきましても、住民の皆様へ感染リスクを回避する行動の徹底を「重ねて重ねて」お願いする必要があると考えてございます。26日には、急遽、首長の皆さんに集まっていただきまして、協力要請を記載しました共同の緊急メッセージを發出しまして、現在、市町村、関係団体、報道機関の皆様をいただきながら、この周知を図っていくものであります。引き続き、地域一丸となって感染拡大防止対策に取り組んでまいります。釧路からは以上です。

**【副本部長（中野副知事）】**

その他、各部から何かあれば順次お願いいたします。では教育庁、お願いします。

**【小玉教育長】**

はい、教育庁です。全道的な感染状況の減少傾向に伴いまして、児童生徒等の感染事

例も減少傾向が見られましたが、冬休みも終わりました、今週に入り、高等学校において、集団感染が複数発生しております。道教委では、これから年度末・年度始めに向けて、学校の行事や活動が活発化しますことから、札幌市教育委員会等とも協議の上、改めて国の衛生管理マニュアルに基づく対策の徹底を指導するとともに、この時期に特に留意していただきたい事項をスライドの資料7のとおり呼びかけることとしております。まず、①ですが、卒業式や入学式におきまして、式全体の時間短縮やオンライン配信の活用等の工夫を行うこと。また、④になりますが、部活動につきましては、練習中や大会の場だけではなく、移動、更衣、休憩中などにおきましても感染症対策を徹底するとともに、大会の主催者の感染症対策を必ず確認するという。また、⑤学年末・学年始めの休業におきましては、児童生徒等が家庭や地域で過ごすことが多くなりますことから、毎日の体調管理を徹底するとともに、同居の家族を含め、発熱等の風邪症状が見られる場合は外出を控えていただきたいということ。⑥「その他」といたしまして、友人等との集まり、卒業記念の懇談会など大人数での会食を控えるほか、進学や転入学の際は、異動先の感染状況や自治体の感染症対策に留意すること、といったことをお示ししております。

本日、この後、教育局長会議を開催し、全ての学校に対し対策の徹底を求めることとしております。各部、振興局等各本部長におかれましても、特に高校生、大学生等若者への感染予防の呼びかけに、お力添えをいただきたいと思っております。以上でございます。

**【副本部長（中野副知事）】**

続きまして、総務部長、お願いします。

**【平野総務部長】**

総務部です。資料はございません。ただ今、教育長から説明がございましたが、私立の学校に対しましても、学年末・学年始めに向けたですね、感染防止対策の留意事項について周知をしております。また、専門学校等につきましては、卒業、入学時期における感染リスクを回避する行動の徹底について、ここを強く注意喚起する通知を发出しております。

次に職員についてでございますが、小樽市内への出張などにつきましては、オンラインの活用や日程を変更するなどにより、控えるようにしてください。また、各所属において、在宅勤務、分散出勤に取り組むとともに、同居してない方との飲食を控えることなど、これまでの感染防止対策についてもですね、引き続き徹底するよう、よろしくお願いたします。以上です。

**【副本部長（中野副知事）】**

その他各部・各振興局から何かご発言ありますでしょうか。よろしいですか。

はい、それではここで本部長からお願いをいたします。

### 【本部長（知事）】

これまで道民の皆様、事業者の方々のご理解、ご協力をいただきまして、先週の対策本部会議以降もですね、新規感染者数については減少しているというところでございます。人口10万人当たりの新規感染者数、緊急事態宣言の検討を要請をする10万人当たり25人ということで示しておりますけれども、今現在約15人という状況でありまして、こちらでも減少の傾向が見られるという状況でございます。

一方で、先ほどから様々、振興局長の方からお話ございましたけれども、飲食の場面における集団感染、こちらが12月を大きく上回っているという状況がございます。集団感染の発生が増加をしている状況がございます。全道への広がり懸念をされるという状況です。昨日、小樽市、振興局長からもお話がありましたけれども、過去最多となる感染が確認されたところでございます。予断を許さない状況にあることから、さらに全道において徹底した取組を進めて、ここでもう一段、感染を減少させていかなければならないというふうに考えております。

また、先ほど冒頭説明がありましたけれども、重症となる方について増加していること、このことも懸念されます。道内では、医療提供体制への高い負荷が長期にわたって、かかり続けている状況になっております。医療従事者の皆様の負担も大きくなる中で、再び感染が拡大する、そういったことになれば、医療への影響が、より一層深刻化することとなります。

先ほどですね、小樽市の迫市長と直接お話をさせていただきました。先ほど報告がありました、小樽市内の感染を抑えこんでいくため、現在、医師、保健師、事務職等ですね、広域派遣チームを派遣しているところでございますけれども、市長の方からもそのことに対する感謝とともに、連携をして取り組んでいこうということで確認したところでございます。その上で、小樽市内においては、感染リスクを回避できない場合、不要不急の外出、そして往来について自粛いただくよう要請することを決定いたしました。

各本部員においては、この新たな要請、こちらを含めて、2月15日までの集中対策、集中対策期間でございますので、今一度、市町村や関係団体の皆様と、認識の共有、対策内容の実施について、その徹底を図っていただきたいと思っております。ここでしっかりと感染者数を減少に転じさせ、感染拡大を抑制していけるように、多発する集団感染の早期の封じ込めをはじめとして、地域の実情に応じた対策を積極的かつ効果的に進めていき、総力をあげて、感染防止対策に取り組んでいただくように指示をいたします。みなさん、よろしく願いいたします。

### 【副本部長（中野副知事）】

それでは、ただいまの本部長から指示のありました内容について、各本部員はしっかりと必要な対応をとっていただきますよう、お願いをいたします。

それでは以上をもちまして、第34回本部会議を終了いたします。

（了）



